

60歳からの生涯学習



研修生の手作り学会新聞

北九州市立年長者研修大学校

周望

第54号
平成26年2月1日

発行 北九州市立年長者研修大学校

周望 学舎

〒803-0852 小倉北区新高田2丁目29-1

TEL 591-2626

周望学舎新聞編集委員会

周望学舎はこれからも進化していきます

周望学舎 所長 日野 俊彦



平成二十五年度の研修は、あと一か月ほどで修了式を迎えます。三大自然に加え、校外学習などいろいろな趣向を変えた研修で、一年間充実した学舎生活を送っていただけたのではなかったかと思えます。来年度の研修生募集も、もう始まっており、研修生の皆さんは、今度ほどのコースに応募しようかと、思いめぐらせている方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

このたび、平成二十六年以降の周望学舎の管理運営を、引き続き北九州シニアネットワークアカデミーが行うことになりました。これからの五年の指定管理の期間、「生きがい・健康・ふれあい」づくりの基本理念は忘れず、でも、毎年少しずつ進化していきたいと考えています。この一年間、皆さんと一緒に行事に参加する中で、話を伺う機会があり、多くの方が周望学舎に愛着を感じていることに気づきました。そのような皆さんにとって貴重な場所ですから、これからも大切に育てていかなければならないと思います。

多くの方々の意見や要望を伺いながら、皆さんの期待に沿うような運営を心掛けてまいります。どうか皆さんのご協力をお願いいたします。

私には夢がある

健康管理コース 藤田 宏富

私には夢がある。周望学舎のロビーに、ロビーカフェの新設開店である。世間にはブックカフェ、哲学カフェ、サイエンスカフェ、などがある。いずれも、気軽に話すこと聞くことを目的としている。

さて、当学舎の研修を振り返ってみるに、十分に満足を得る研修生が多数だろうが、何割かは、満たされない思いを抱いていると推測する。で、各コースの垣根を越えて、昼休みの三十分、その日の研修に学んだ事を発端に、話し合うひと時の場があってもいいのではないか。見ず聞かず、言はずで周望の坂を下る何割かの人たちの、気軽に参加できるロビーカフェを望んでやまない。

パワーあふれる諸先輩、共鳴する御学友、夢の実現にお力添えあれ。

学び舎の春秋

心と身体健康コース 近藤 孝治

四年前関東から郷里戸畑にUターン、翌春の周望入学で久方ぶりの学舎生活に入って三年目。現コースは、生徒二十三人中男性四人、周りは個性豊かな美レディーばかり。週一の登校日は、胸わくわくで、「心の健康」そのものといった教室生活に感謝いっぱい。

学舎の周辺一帯は、古い地図に「古清水水道地」とあるように緑の自然が豊かで、春は花、秋は黄紅葉が色を添え、景観は眼下の市街地の先に連山あり、関門橋、響灘、周防灘等の海と空が広がり、目前の双丘には由緒ある篠崎八幡宮と五世紀代の九州の代表的な古墳群―東宮尾古墳群もあり絶佳ですね。この北九州市のよき地で、良き人、良き時に恵まれて、学舎が末永く盛んなるを願ってやみません。

もうすぐ春ですね、ちよつと梅見に行ってみませんか?

生活情報コース 香川 忠

八女市立花町は九州有数の梅の産地であり、谷川梅林一帯は平成六年、梅の里として整備されました。八十ヘクタールの広大な敷地に、剪定された白梅約三万本が可憐な花と甘い香りを放っており、九州の「梅の三名園」のひとつと称されており、開花時には「夢たちばな観梅会」が開催されます。緩やかな勾配なので時間をかけて観覧できます。一度行ってみてはいかがでしょう。

二月下旬の土、日の午後には約六十メートルのトンネル内の暗闇に浮き上がる、約三千本の竹灯籠が幻想的な世界を奏でるイベント「竹あかり幻想の世界」が行われています。八女インターから国道四四二号線を

編集余話

電子メール、電子書籍等の発達により当今の文字離れはすさまじく、就中若年層の中には新聞すら読まない者もいるという現況に危惧をいだきます。

このような世情の中で、活字の力強さ、カラー写真の鮮明さと華麗さ、用紙の懐かしさを感じさせる周望学舎新聞を隅々まで読み、更に永く保存していただきたく思い様々な企画を考えました。

数年前、周望学舎新聞が全頁カラー印刷になったのを契機に紙面を一新し、見開き頁にV字型の見出しをつけ注目を浴びました。その翌年は写真を紙面の中央に集め読者の目を釘付けに、また昨年は左右に大きな見出しを印刷、さらに今年度は写真より記事を多く掲

～周望学舎に見る自然～



↑研修生の皆様に整備して頂き、美しくなった遊歩道



↑サザンカ、クサギ等四季折々の植物



↑坂道から見えるおなじみの光景

左折し、さらに国道三号線を右折した先の旧立花役場に駐車場（無料）があり、シャトルバスも運行されています。観梅後には三号線を南下し、道の駅「たちばな」にて地元漬物の梅干しなどお土産に買われるといかがでしょうか。卒業前のお別れ会にご紹介いたします。



「周望」はお陰様で54号を迎えました

載し紙面の充実を図りました。内容についてはご批判、ご意見がありがたいことと思っております。ご教示賜れば幸いです。今後とも、皆様の温かいご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

周望学舎新聞編集委員一同

パワー炸裂

平成25年6月27日(木)



スポーツ大会を顧みて

スポーツ大会実行委員長 久芳 英昭

周望学舎三大行事の皮切りとなるスポーツ大会が、六月二十七日、北九州市立総合体育館にて開催。爽やかな開会宣言、力強い選手宣誓で開幕。運動量の激しさや怪我等を十分考慮した競技種目でした。若さ溢れ、元気溢刺とした熱戦、加えて紅白応援合戦は真摯でスマートに大会を盛り上げて頂いた。愛のラケット、仲良しリレー等、ペアの呼吸が期待された競技。そして北九州市制五十周年の記念の年にあたり、全員参加の百万踊りが加わって賑やかさも増幅。私達研修生が主役であり、思う存分、心ゆくまで楽しみ、仲間づくりにもなったと思います。人生は定年はありません。健康が第一。良い思い出出来たでしょう！何より、無事に閉会することが出来ました。これもひとえに、諸準備や運営にご尽力下さいました日野所長と職員の皆様、各コースの実行委員の皆様。健康ボランティアの方々のご苦勞の賜であり、敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございました。



スポーツ大会

世界遺産マチュピチュを旅して

健康づくりサポーター 原田 志津江

ロスアンゼルスからペルーの首都リマ迄十時間のフライト、しかし僅れのマチュピチュはまだ遠いのです。標高三千m以上の美しく神秘的なアンデスの山並をドライブ、また聖なるインカの谷を通って行く列車の旅：まるで夢の様です。南米大陸を横断するアマゾン川の上流はアンデス山脈から流れ出る水で人々の生活を潤しています。何と水道代は0円だそう。羨ましい限りです。いよいよ世界の不思議のひいとつ、幻の空中都市に到着です。見張りの小屋、太陽の神殿、聖なる広場、コンドルの神殿、すべて正確な技術で石造建設をしています。感動です。私はこの神聖な遺跡から凄くエネルギーを感じ、思わず両手を合わせ、来て良かったと最高の気持ちになりました。



木屋瀬宿史跡巡り

ふたごの文化コース 岩本 均

四月に周望学舎に入學して十ヶ月あまり過ぎた快晴の十一月五日、ふるさとの文化コース全員で木屋瀬宿史跡巡りに出かけました。ボランティアガイドの説明を聞きながら宿場内を歩きました。「この木屋瀬宿は、遠賀川と岡森用水路に囲まれ、東横口から西横口まで長崎街道が通り抜け、宿場の中は藩主の領地巡回の別邸御茶屋をはじめ代官所・村庄屋・船庄屋・郡屋・神社などがあり、辻の行き止まりには各宗派の寺院が配置され城下町を思わせる町並になっています。」との話を聞き、知識の袋がふくらんでいく感じがしました。も一度ゆっくり、じっくり、なるほど、なるほど、とうなずきながら、宿場内を時間をかけて巡ってみたいと思いました。

江戸川柳の穿ちと風刺

国際情報コース 瀧上 篤也

江戸川柳は人間の関わるあらゆる事象を客観的に詠む短詩型文芸です。その真髄は「穿ち」と「風刺」にあります。代表句二例です。

泣き泣きもよい方を取る形見分け (誹風柳多留)

この句は人間の秘められた欲望を見事に決った佳句で、死者を偲び愁嘆の涙を流しながらも、どうせ貰うならば少しでも高価なものも欲しいという、物欲に支配される人間の業を「泣き泣きも」という穿ちで的確に表現しています。

役人の子はにぎをよく覚え (誹風柳多留)

この句は、役人の取賄を痛烈に風刺した佳句です。役人の子は他の赤子と違って、その握り方の習得がずば抜けて早いという皮肉です。江戸川柳は、寸鉄岩をも穿つ透徹した目で人間を詠みます。

楽しく社交ダンスを学ぶ

社交ダンス入門コース 村田 晴彦

『もしもピアノが弾けたなら』三十数年前にヒットした曲がある。人生でこのような場面に出会う事が何度もある。海外旅行で流暢に英語が話せたら、朝ドラの「あまちゃん」を見て海底を悠々と泳泳できたら：等々。今年は素敵な人とワルツ、タンゴを楽しく踊れたらと思えば社交ダンス入門コースを選んだ。やってみると簡単にはいかず、社交ダンスの難しさと奥の深さを知らされる事となった。やれば少しづつではあるが確実に前進すると思う。ボケないための条件に運動する、頭を使う、異性に気を遣う等があったが皆あてはまる。今後も続けていこう。熱心に指導された先生、学舎の指導員、愉快なクラスメイトに感謝。元気で何時までもエンジョイ、社交ダンス!!

悩み・これも人生

アジアを学ぶコース 西村 武朗

「健康いきいきチェック」の調査が指名で市の保健局から送られてきた。内容は「日用品の買い物をしていきますか」「この一年間に転んだことがありますか」「毎日の生活に充実感がある」など二十五項目を「はい」「いいえ」で回答。「いいえ」が多かったら要注意なこと。高齢者の生活機能低下を見る調査だが記入してみると結構バリエーション。授業での講義の資料を手に振り返るとまったく理解できていない。しっかりとメモして体調は悪くない。片脚立ちで靴下がはけない。転倒に対する不安が大きい。心当たりのある人は「ロコモ(ロコモタイプB)」「ロコモ」運動器症候群の意で、骨や筋肉などの器官の衰えを指す。足腰を鍛え、運動器の「耐用年数」を延ばすことが一番だそう。自身は、なるようになると思っているが、楽観的な人は不健康な生活習慣に陥りやすく、根拠のない楽観が災いする。気にすればキリがない。人生の千秋楽までは年齢相応にバランスよく、いつも「今でしょ!」の気合で。

私の夢

書道入門コース 千代島 ケイ子

書道だっただら入れるのでは。申し込んだコースがだめで、周望学舎に行ったらと言われた言葉。一番苦手な書道しか入れないのから。心して書道入門コースに入って九ヶ月。皆さん上手な人ばかり。ピリツと引き締まった教室は学生時代に戻ったようなワクワクする時間です。書いた書を早々と先生に見てもらって廊下に貼りに行く人、人。だんだん追い詰められて益々書けない私。艱難辛苦を乗り越えた人生。心落ち着けて書に向かいます。遅れて持つて行ったちゃんとして見てくれる先生に感謝。私の夢は長年住んでいた古都奈良の薬師寺写経場で薬師如来様に見守られてお写経する事です。

期待に燃える窯出し

大学祭出品 陶芸コース K.H

平成二十五年度もカリキュラムを終え、陶芸コースの各人の顔にも焼き物の心が芽生えはじめてきたようです。熱心な人が多いのか?単純な人が多いのか?〇〇指導員の、今年の生徒は質が高いとか、何時とは言えませんが、過去の研修生と比べるとセンスが良い等の言葉に乗せられ、踊らされ、順調に成果が出ているようです。高齢者の手習い、処女作にしては十分家庭でも使えるような作品が揃いました。半年間の成果を発表する場としての大学祭、一抹の不安を感じながらもそれなりに自信満々の作品を展示しました。価格表をつけたらひよっとしたら売れたかも：の声も聞こえてくるぐらいでした。大学祭期間中は一般の見学者、他のコースの方、また陶芸コースの諸先輩方等のご意見を伺いながら楽しく歓談させて頂いていただきました。来年も楽しみます。

フラワー大学祭

花と野菜作りコース 藤村 朋子

一同に展示された仲間の作品、まるでスクリーンの世界(イギリスかドイツの田舎)に浸るような感じでした。幸せな気分になり、ステキ、キレイ、カワイイの連呼。大学祭の展示物は班ごとにとり決め、私達のグループは一人一作品以上の寄せ植えに決定。イメージに合った器、花材等の収集、製作、その後の毎日の水やり、花殻つみ、もろもろの手入れ：クラスメイト全員の集結で美しい花園の出来上がりです。これは全員の協力の賜物です。美しいガーデニングの数々が今もはつきすばらしい感動をありがとうございます。

熟年の輝き

平成25年10月5日(土)~6日(日)



平成二十五年度

大学祭について 大神 克洋

平成二十五年度の大学祭も恒例の「社交ダンスパーティー」で無事終了しました。研修生全員参加いただいたことに感謝いたします。今年の講演会はフリーアナウンサーで象予報士の山本耕一氏による講演「あなたを守る天気予報の知識」で会場満席となり、最近の異常気象を反映しているかのような関心の高さでした。学習発表や作品展示についてのアンケートでは、真剣さが感じられる等の意見が多く見受けられましたが、反面改善すべき点や再検討事項も多少ありましたので、来年度は実行委員会ですっかり討議し、全員参加を基本に、より楽しい大学祭作りに期待したいと思います。



大学祭





修学旅行を回想して

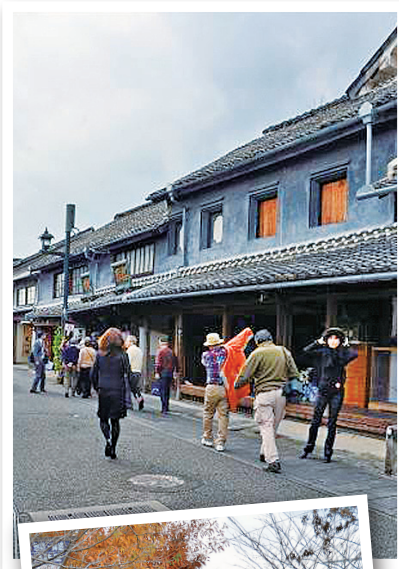
修学旅行実行委員長 榎丸 靖幸
国際情報コース

今年度の修学旅行が事故もなく無事に終わった。本行事に携わってきた学舎事務局並びにご協力いただいた多くの方々に感謝の意を表したい。

私自身阿蘇の地は久しぶりであったが、相も変わらぬ悠揚とした阿蘇の山々の姿には改めて感動を覚え、巡った先々では貴重な歴史や伝統に接することができ満足している。

また、旅の途中で目にした、研修生が童心に返ったような光景の数々、そして次から次に繰り出される熱演や熱唱、声援で大いに盛り上がった宴会等々は今も記憶に新しい。

そんなことを回想しながら、今回は個人的にも実行委員としても及第点がつけられるのではと感じているが、皆さんは如何？



【修学旅行写真撮影＝白石 寛(写真入門コース)】

修学旅行雑感

写真入門コース 白石 寛

心弾む修学旅行。阿蘇への旅路をクラス仲間と心ゆくまで堪能してきた。紅葉真っ盛りの晩秋。人生を春夏秋冬に例えれば、我々は正に人生の収穫期。その貴重な時間にクラス仲間とかけがえない思い出がまた一つできたのも、この修学旅行のお蔭である。童心に戻った演芸大会。その中にも人生を重ねた渋い響きを感じたのは私一人ではないだろう。一人ひとりの笑顔が本当に光っていた。なんと円熟した人生の秋を過ごしていることだろうか。

大観峰から眺めた涅槃像はガスに霞んでいたが、その雄大な自然の姿に圧倒され、自ずと自分の心が洗われていくのを感じた。この新たな気持ちで周望学舎の残された生活を楽しみたいと思った。

私の修学旅行

暮らしと環境コース 和田 徳次郎

十一月二十日八時五十分、ガイドさんの名調子で出発。まず、悠久浪漫ただよう菊水江田船山古墳公園。昼食も菊水の里で満腹。午後は錦秋の菊池溪谷を、大観峰等々雄大な自然を満喫するうちにホテルに着。夜は豪華な食事に舌鼓を打つ間もなく、宴会に、各コース自慢の演芸合戦が続く。最後に全員集合で炭坑節を踊り大団円。二日目は天気快晴、阿蘇神社で参拝する。パノラマ景色を堪能しつつ南阿蘇へ、囲炉裏を囲み田楽を味わう至福の時であった。帰りのバスはビンゴゲームで大盛り上がり。今回の修学旅行は、観光地選択とゆとりある行程が共に良かった。全てコースの皆様への協力の賜である。感謝感謝。

修学旅行に参加して

地域ふれあいコース 白元 操

楽しみに待った修学旅行当日は雨からスタート。新入生の私にとって「修学旅行」も「修学旅行委員」も初めての経験で不安がよぎりました。でも、江田船山古墳では雨も上がり紅葉のあでやかさはまた格別でした。

米米惣門ツアーでは、昔をしのばせる米麴酒蔵・寺等を見学、当時の繁栄の一端を感じました。この日の見どころ大観峰では雄大な景色、自然の美しさに皆が感動しました。ホテルには予定より早めに到着、夜の演芸、カラオケ大会は趣向をこらし大いに盛り上がりました。

二日目も旅行日和、阿蘇神社と水基めぐり、阿蘇ファームランドを経て昼食、高森田楽村で昔懐かしい囲炉裏を囲みながら、田楽をほおぼり満腹で身体も暖まり満足しキムチ村へ。これで全行程は終わりました。帰りのバスでは、ビンゴゲーム等楽しく過ごし、大きな事故もなく帰り、仲間との交流、絆が深まりました。この旅行で新たな

発見と多くの感動を得て良き思い出となりました。ありがとうございました。

楽しかった修学旅行

健康ダイエットコース 伊古野 拓三

待ちに待った、大人たちの修学旅行出発は雨の中でしたが、のち直ぐ止み、終わりをければ全て良しで、楽しい旅行でした。

出発も全員時間通りに集合し、纏まりの良さを出しました。車中ユーモア溢れる課長の挨拶、歌声、カラオケのリハーサル、雑学の頭の体操等有意義でした。何度行っても雄大な草原大観峰、夜は各コースの競演、大いに盛り上がりました。年々華やか？

になったように感じます。翌日も時間通り出発でき、昨夕の酔いは何処へやら、気分一新阿蘇神社に詣で、紅葉の大パノラマ、大自然に抱かれ、心機一転明日からの生活に活力を見出しました。何はともあれ全員無事終了できたのが幸せでした。関係の皆様へ感謝です。ありがとうございました。

バスを連ねて雪の阿蘇路

歴史に学ぶコース 早田 正男

皆真冬並みに着込み傘持参で大型バスに乗り込み小倉駅北口から出発しました(実行委員としては気のもめるスタートでした)。

観光先では雨も降らず現地ガイドの案内で、古墳や古い宿場町等興味深く見学できました。ホテルの大宴会では女性チームの気合のフラダンス、男性チームの扇振付の古城合唱、代表男女のカラオケ熱唱でコースは大盛り上がり。

二日目、バスは阿蘇神社に向かうが周囲の景色は一変し山肌は薄く濃く雪化粧。山群は中腹から上は雪雲に隠れていました。田楽村に到着の時、眼前の根子岳が一行を歓迎するように陽を浴び、くつきりと秀麗な山容を見せました。

天気、食事、温泉、仲間等に恵まれた楽しい修学旅行でした。